

(一社) 天草宝島観光協会平成28年通常総会 議事録

期 日 平成28年6月15日(火)
時 間 午後3時00分から
場 所 ホテルアレグリアガーデンズ天草
出席者 総合計375名

1 開 会

【司会 中上】

ご案内いたしました時刻となりましたので、開会を当協会副会長松本國雄が申し上げます。

【松本副会長】

皆さまこんにちは。本日は梅雨の晴れ間の中に大変公私ともにお忙しい中会員の皆様方にご出席いただきありがとうございます。また、来賓と致しまして天草市長さんを始めとして国会議員の先生方、または天草出身の政治団の皆さま、また多くのご来賓の皆さまにご出席いただき、華を添えて頂きましたことに厚くお礼申し上げます。先般4月の14日、16日に発生致しました熊本地震で多くの皆様方が被害に遭われたことと思います。改めてご苦勞をかけられていることだと思えます。そういう中で我が天草も地震の被害こそはありませんでしたけれども、観光業に関しましては大変大きな被害を被っておりまだまだ復興の先が見えないのが現状でございます。その中でも平成28年一般社団法人天草宝島観光協会の通常総会を開催いたします。どうぞよろしくお願い致します。

2 会長あいさつ

【司会 中上】

一般社団法人天草宝島観光協会会長永田章一がご挨拶申し上げます。

【永田会長】

皆さまこんにちは。平成28年度の総会に皆さま大変お忙しい中にご出席を頂きまして本当にありがとうございます。また、中村市長をはじめ、ご来賓の方々には大変お忙しい中に私どもの総会にご臨席賜りまして心より感謝申し上げます。ありがとうございます。まさに先ほど松本副会長からお話しがありましたけれども、今度の熊本地震は想定外と言いますか、そこで被害に遭われた方、お亡くなりになられた方に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げたいと思います。天草は比較的少ないという話でしたが実は私もこの前災証明書を頂いてきました。実は御領だけがうちも冷凍庫の中にひびが入ったり、建物の外にもひびが入ったり、瓦も落ちました。茶棚も倒れました。御領の中の本当に一部なんですけれども被害があ

ったということで市役所に行きましたら私は何番目か聞いたら、永田さんは34番目ですよということで、私たちは修繕したり建て直せば大丈夫なんですけれども今回の地震によって天草も風評被害でホテルや旅館、またはイルカウォッチングの皆様方のキャンセルが本当に大変だなという思いでいっぱいでした。その中で観光協会の中でも特別委員会を立ち上げてつい先ほどまで委員会のホテル・旅館の方と打ち合わせをさせて頂きましたけれども、今特別委員会で取り組んでいる最中でございます。今年は天草五橋50周年だとか雲仙天草国立公園編入60周年だったり、歴史を紐解いてみますと天草で観光協会が出来たのが国立公園になる前にそろそろ観光協会を作って観光客を呼ぼうじゃないかということで出来たそうです。その後、各市町村で17年前に天草空港が出来てエアラインが飛んだ時にこれからは観光のスタイルを新しくなっていくのだから天草市はまとまって一つの観光協会にならなければということで観光協会が出来たという経緯があります。時代とともに組織は作り変えてはきてるんですけれども、やはり私たちが普段営業活動を続けていますと時代は徐々にくると思うんですよ。高齢化が進みます、人口の減少が進みますと、人口の減少も5年後、10年後は天草はこれくらいの人口になりますと言いますけれども一気に明日なるのではなくて徐々に徐々にきますのでどうやって手を打っていくのかが重要になっていくと思っております。そういう中でITと言われてから20数年前からIT時代ですよといわれて今まで来たんですけれども、ここ10年それが加速的に進んできたのではないかと思います。一つは大手の新聞社、大手のテレビ局の経営状態が今はあまり良くありません。やはり資産を売却したりしながら収益を上げていっているような状況です。私はニュースを見るときも新聞はあまり見ません。どちらかというリアルタイムにスマホに入ってくるものですから、それでニュースを確認すると時代も変わってきております。そういう中でおかげさまで私たちの天草宝島観光協会はホームページのアクセス数は年間100万件を超えています。これを私たちは使わない手はないということで本年度はこれまでは第3種の旅行業で天草まで来て頂いてそこからの旅行商品しか作れないという想定だったんですけれども、今度は第2種、天草エアラインやJRを使ってその代金も一緒になった旅行商品を作れるというのが第2種でございます。それを今市長にもお願いして予算化もして頂いて取り組んでおります。しかし、先般県庁にも行ってきましたけれども、一般社団法人で旅行業をとるとというのが初めてのケースでございます普通は一般の会社がとるんですけれども、私どもが取るとということで資産の構成の在り方とかそういうものに今お互いに今ディスカッションをしながら許可をしますよということで難航しておりますけれども、しっかりこれを取って今年からのものにしていきたいと思っております。それは何でかということ100万件のアクセスがあってお客様の声がダイレクトに聞けるということでお客様の声を私たちがいかに反映させていけるかというのが1点、2点目がやはり今までは天草市さんの補助金がたくさん頂いておりましたので出来るだけ自分たちも努力して自主財源を確保しようと、この2つでございます。そして新しい旅行商品をどんどん作らないといけませんし、お土産品も開発しないといけませんし、そういうことで今年はやることがいっぱいなんですけれども、地震の対策ももちろん救急にするのも大切、もう一つでは人間で言えばはきっちりした健康診断を受けて漢方を頂いて、きちんとした形で天草の観光に取り組んでいくのも必要ではないかと思っております。

ます。今日はそういうことでこれからに向けては昨年の秋から私がずっと目標に取り組んでいくことを考えさせていただきました。そのことをぜひ皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思ひます。最後におもてなし、これは横島会長の時から取り組んでおりますけれども、私はやはり天草全島が観光地であるということで掃除の徹底、宿泊業さんもそうですけれども、一般の道路もそうです。公園もそうです。掃除の徹底ということでぜひ私どもと一緒に活動して頂ければ本当に爽やかな観光地としてお客様が来て帰って頂けるのではないかと思っております。それがまたリピーターにつながるのではないかと思っております。そういうことで今年1年そういったことに取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

3. 観光功勞者表彰

【司会 高松】

観光功勞者表彰をとりおこないます。当協会では、観光振興に顕著な功績があった方を毎年総会の開催に併せ表彰しております。支部などからの推薦を受け、理事会で審議致しました結果、本年度は宮田勝栄様に決定いたしました。宮田様檀上へお進みください。宮田様は永年牛深地区の観光振興に寄与され牛深ハイヤ祭りをはじめ、各種イベントに精力的にご参加された事等が認められての受賞になりました。当協会永田会長より賞状と記念品が贈られます。

(永田会長から表彰状と記念品授与)

【宮田勝栄様】

皆さまありがとうございました。私一人のためにこんなに広い会場をセツトして頂きまして冥途の土産でございます。74歳でこんな素晴らしい賞を頂きまして、また牛深支部の浜崎さん本当にありがとうございました。

【司会 高松】

おめでとうございます。今一度、盛大な拍手をお願い致します。

4. 来賓挨拶

【司会 高松】

本日は、公私ともにお忙しい中、多くのご来賓にご臨席賜りました。ここでご来賓を代表して5名の方からご挨拶を頂戴いたします。天草市長中村五木様お願いいたします。

【天草市長 中村五木氏】

皆様こんにちは。ご紹介頂きました中村でございます。本日は一般社団法人天草宝島観光協会の総会ということでご案内を頂きました。今日は代議士をはじめ県会議員の先生方、多数ご来賓もおいででございますけれども、ご指名を頂きましたのでお許しを頂きましてご挨拶をさせて頂きたいと思ひます。今日は松村先生がご承知のように震災の関係でなかなかあと

10日くらいで告示が始まるんですが天草において頂いているなか、選挙活動が出来なかったということで、そろそろお互いお忙しい中やらなければならないということで、今日先ほど1時から選対会議をやらせて頂いてそれぞれの先生方が天草の方にお入りになっていたということでお集まりでございます。私の方も後に控えていらっしゃると思いますのでご報告だけにさせて頂きたいと思っております。まずもって本日は受賞おめでとうございます。ご承知のとおり震災の関係についてはそれぞれご説明があると思っておりますけれども、おかげさまで天草市に至ってはさほどの事もございませんでした。ただ、本庁舎が5.5以上の地震が来たときは崩壊するというので、今回五和地域で6弱ということがあったものですから、今回苦慮しながらも検討して、皆様方には大変3年間ご迷惑をおかけいたしますけれども移転することに致しました。ご理解を頂きたいと思っております。そういった現状の中で先ほども会長がおっしゃいましたように風評被害で観光業だけではなくして、全部関連の事業所の方が危機的状況にいらっしゃるということでありまして、先般も旅館ホテルの業者関係の救済をしようということで急遽予算も組ませて頂きました。今日も松村先生がご説明をされるということでございましたけれども、3枚目の右側にございますけれども、これはご承知のとおり小規模事業者の持続化補助金ということで国が政策としてやる事業でございますけれども、これは要するに被災地を中心にやっております。熊本と大分だけが200万ということなんですが、皆さまご承知だとは思いますがこれが6月24日が一次の締め切りの申し込みということと二次募集が7月29日の金曜日で終わりということでございまして、ホテルの方々には宿泊のプレミアム券も急遽先決を頂いてするようになったのですが、ただ旅館に関わらずいろいろな方がお困りになっているということで、何とか中小企業の皆様方に支援が出来ないものかということで従来から考えておったんですが、今回、国がやるこの事業が終わります。その後私たちがいろいろ査定を受け、国の許可をもらわれるということがだいたい目途を3ヶ月立てて10月からうちが単独でこの事業を引き継いでみようかということで今計画をしまして天草市産業基金チャレンジ交付金事業ということで今回天草市小規模事業者の持続化補助金ということで仕組みを作りまして10月からこれは単独でやるように致しております。当分の間はやりたいと思っておりますので、ぜひとも国も7月29日を境に締め切りが終わってから10月から1回目の受付をやってみたいと思っておりますのでどうぞ皆様方、またきちとした形で要項を作っておりますけれども、10月までに間に合うように皆様方にご同意いただくということで考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。ご存知のとおり観光事業、経済事業大変厳しいということで、なんせ天草は今元気ですからそれぞれ観光客の方がお越しになって、おそらく6月からはいくらか観光客の方が天草へ入って頂くというご予約もございましたけれども、国の事業で観光事業の中で宿泊券を7割補助するというものが急遽新聞報道されたということで、じゃあ6月はキャンセルして7月に行こうというお客様が大変増えて6月をどうやってしのぐかという現実もむかえている状況でございます。そういうことで非常に厳しい現状ではございますけれども私たちも何とか3000万のプレミアム券を発売するよう致しましたのでそれぞれ事業所の方々が頑張るってまず売って頂くことが大事であろうと思っております。考えていてもなかなか手を付けられないという現状にありますので、皆様方の意見も当然受入な

がらそして一体となっていきたいと思っております。後は松村先生に任せて中途半端になりましたけれどもご挨拶にさせて頂きたいと思っております。皆様方、今日は本当におめでとうございました。

【司会 高松】

ありがとうございました。続きまして衆議院議員園田博之様お願い致します。

【衆議院議員 園田博之氏】

こんにちは。観光協会の通常総会にお招きいただきましてありがとうございました。過去に記憶がなくて、たぶん案内を頂いておるのに出てないんじゃないんだろうかと、申し訳ございません。国会も終わっております、たまたま震災対策で熊本に来ることが多いものですから今回は出れたということだろうと思います。この震災は見かけだけでも元に戻すのに熊本城だけでも10年近くかかると言われていますから、かなりの時間が必要だと思っております。それ以上に大事な問題は中身なんですね。とにかく熊本県内でいろんなことをしようとしてされている方の仕事が発展する環境になるかどうか。これが問題です。ここに行き届くのはまたさらに何十年とかかるんですね。そこで政府でも即効性のあるものをいろいろと考えておられますが、私どもとしてはぜひ秋の国会で熊本を特別区にして頂いて予算だけでは無しに、予算は多くは求めません。税制とか規制緩和、これを熊本だったら許すという風にして頂いて熊本に多くの方々が投資をして良かったという環境を作るのが一番大事ではないかと思っております。私はこれは理に適っておりますから安倍さんの経済政策としては非常にテストケースとしては面白い政策と思っております。国会の他の方々と話し合っただけでこれを作っていくたいと思っております。その他にも天草の事を考えますと今後の九州観光旅行プランというのは即効性があると思っております。180億の予算がつきましたけれども、観光庁では何倍か予算を追加しないとだめだろうということを考えています。そういう効果があってくればいいなと思っております。それから今後の課題を考えるとやっぱり交通アクセスですね。道路は時間がかかっておりますが第2一号橋が完成して来年度中にはあそこが使えるようになります。それから同じく来年度中には第二瀬戸橋の工事も始められるんじゃないかなろうかと思っております。出発と終点だけ決まって中をどうするかというのはまだこれからなんですけれども陸からのアクセスは改善されるんじゃないかなろうかと思っております。一部だけでもそうとう短縮されますから。それから天草の市長さんたちと話し合ったんですが世界遺産と関連して長崎と天草との海からのアクセスを強化したいとのことで今長崎との話し合いをして頂いております。世界遺産が意外なことが起きてしましまして、2年間遠まわりせざるをえなくなったわけではありますが、本当であれば今年の秋に登録される予定だったのですが、イコモスのご忠告に従って確実に世界遺産にしてみらおうということで、私は2年後は間違いなかなろうかというふうに思っておりましたがなかなか簡単ではないんですね。その次に控えていた連中が天草・長崎が1回傷を負ったということで追い越せばいいということで猛烈な運動を始めたんです。これに負けずに、今までのいきさつから言うと次は長崎天草の教会群が指定されるのが当たり前ですから、間違いなく実現できるように熊本県国会議員団、長崎県国会議員団全員の協力を得て一生懸命対応しているところでありまして文化庁も間違いな

く指定してくれることだろうと思いますので、それくらいこの世界遺産というのが毎年注目を集めるようになりまして全国でいろんなところがいろんなことを始めてます。天草から見れば崎津だけかもしれませんが、しかしそれがあれば天草へ来ようという動機を生み出すことができますので、いろいろ考えております。いずれにせよこの観光協会の皆さま方がお互いに刺激しあっていい意見を出し合って我々がさらに何をすればいいのかそういうものを提言していただければ、この会がますます力強く天草にいろいろな光を与えることができるのではないかと考えておりますので今後ますますのご発展を祈ってご挨拶と致します。

【司会 高松】

ありがとうございました。続きまして自民党副幹事長参議院議員松村祥史様政府の地震対策のご説明を含めご挨拶をお願い致します。

【自民党副幹事長参議院議員松村祥史氏】

皆さまこんにちは。本日は総会おめでとうございます。またお招きいただき誠にありがとうございます。また、先ほど表彰を受けられました方へますますのご活躍を心からご祈念申し上げます。会長の永田さんが商工会青年部の大先輩でございまして、今日は補正予算等いろいろ出来上がってまいりました。4月14日の発災以降、今日はこんな格好をしておりますが、私も園田先生も今日は園田先生はスーツでございまして、いつも防災服を着ておられてほとんど現場に出ていろんな声を拾っております。安倍政権におきましても私も与党と致しましても熊本の復旧・復興を果たすべく補正予算を7,780億組ませていただいたところでございます。発災以降わずか1ヶ月でございましたので非常に速いスピードで成立できたと、7,780億については生活再建、そして7,000億を予備費ということで使わせていただきます。今回5月30日に1回目の閣議決定を行いまして1,032億分だけ使い方が決まったところでございます。そのうちの800億が観光と中小企業でございまして。いくつかございますけれどももかいつまんで持ってまいりました。特に今日は観光協会の皆さんということで直接被害は受けてらっしゃいませんが、残念ながら風評被害等で天草の事が心配でございます。先ほど中村市長からもお話しがありましたけれども、天草においては国のモデルになるべく中小企業支援センターを市が独自に天草の企業さまの支援をやって頂いております。まさしく国のモデルとなる事業でございまして、その中でも今日は今出来上がってるものを少しだけお話しをしようかということでお持ち致しました。また私も現在自民党の中小小規模企業調査会の会長代表をやらせて頂いてこの予算に関わらせていただきましたのでご説明いたします。だいたい中小企業小規模政策の三本柱というのは金融と雇用と販路拡大です。雇用につきましては風評被害対策ということですので雇用調整助成金、いわゆる売上がへります。そうしますとやはり金融の手当をしますが、このままお客さんが来ないと雇用が保てない。そうすると社員の方々を解雇してしまいます。しかし大事な社員の方々です。この連鎖が始まりますと。天草の経済がどうにかしてしまう、こう心配しておりますので雇用調整助成金。いわゆる国から休んで頂いても給料の5分の4、期間を100日を300日として対応を致しております。これについては本来労働局、熊本

市内まで行きませんとなかなか相談できない仕組みとなっており、今日お越しの4県議の皆さま方から何とかしろと言われましたので6月20日前後で天草での相談窓口会があるそうですのでぜひ足を運んでいただければと思います。風評被害の対策として取り組んでいただければと思います。まず一つ目の金融でございますが、金融については政策金融と、いわゆる地銀の皆様方です。政策金融につきましては、日本政策金融公庫、熊本県45市町村激甚災害の指定を受けましたので金利を下げております。通常、中小部門のところは1.4~1.3でございますのでそれから0.9引きますとだいたい0.4の金利で今貸付を行っております。それから国民生活部門については0.5でございます。2番目の矢印の-0.5と書いてあるところはこれは直接被害のあった方々とお取引があって、仕事が減ってきた方々です。3番目は風評被害、間接的ではあるけれども被害が出ているという方々への金融対策でございます。下の信用保証②というのはすでに発令しておりますリーマンショックの時にやりました信用保障制度、100%保証をやっております。いわゆる銀行のプロパーのお金を借りるわけですけれども、この時なかなか自分が体調が悪いと貸していただけない。ですから信用保証協会が自分が借りるお金の保証を100%やってくれるという制度でございます。この時の保証料についても県に対応いただけるという事になっております。この丸経というのはご存知の方は商工会や会議所で無保証・無担保の融資でございます。これについては5年ほど前に500万から2000万に拡大をしておりますけれども、今回別枠で1000万、都度3000万という事で枠を拡大して対応いたしておりますので知っていただければと思います。次はグループ補助金、これは初めてでございますけれども、残念ながら国の制度とすれば個人の資産にはお金が出ません。したがって工場がやられたとかそのことで廃業しなければいけないとか、店舗がやられた、こういうものには今までは補助は出ませんでした。しかし今回初めてグループを組んでいただく事で改修や建て直し、こういったものへのお金が出るようになります。グループですから2人以上です。どれくらい出るのかというと4分の3、いわゆる75%出てまいりますのでこういうものを対応を致しました。一応400億組んでありますので今日おいでの県議の先生方、6月10日で県議が終わりましたがここで200億積み増しを頂いて都度600億で対応をしたいと思っております。ですから被災を受けられた方々に限りませんが工場の再建、それから機械を買う事が出来る、それから小さな商店、益城町の飲食業の方々も全部家が潰れました。もしまとまりさえすればこういった共同施設が建てられるという仕組みでございます。次は持続化補助金と言いまして中村市長も先ほどお話しされました。2014年の6月20日、安倍政権におきましては中小企業も分けましょうと、証券1億円以上の会社とそれより下の会社、小規模事業者と呼んでおりますけれども10年間で100万社減っております。こういう方々が地域を守って頂いております。こういったところも大事にしないといけない。そこで出来たのが小規模企業振興基本法でございます。2年前にできました。出来たから何をやるのという事で小規模事業者の方々の販路拡大を応援しよう、いろいろやりたいけれども資金がうまくいかないという方々への補助金でございます。成長だけではなく維持していく事も大事ですから持続していく力をつけて頂く、従って持続化補助金と言いますけれども、75万円の計画にしての3分の2の補助、50万円の補助金が出ていたところでございます。だい

たい今年度の27年度補正でも75億それから先ほどおっしゃった熊本県は被災を受けましたので6月中旬まで50万の補助金を継続しておりますが、先ほど成立致しました7000億円のうち25億分は5月31日から始まりまして熊本県と大分県だけは300万円の事業に対しまして200万円の補助金を差上げますという事業を展開しております。これを市長がこれが無くなってしまったら何も無くなってしまうから天草市独自でやりましようと言って頂いたという事でございます。どんな事業があるのかという事は販路拡大でございますから、この例はございませんけれども何をやればいいのかという事例えば飲食業の方々は販路拡大をするために非常にうちのトイレは汚いから女性のお客さんがあまり来ない、だからもっときれいにしたいという事でトイレの改修等なんかも使われたところもございます。クロスを取り替えたり、さらにインバウンドを取り込むために外国語のホームページを作られた方もいらっしゃいました。小さな事かもしれませんが、これは小さな店にとっては非常に効いてくる取り組みでございまして、それぞれ皆様方やりたい事があられるはずでしょうから、こういったものが使えるという事です。それから今回は人口減少の地区、高齢化が進む地区におきましては買い物支援事業、例えば車を買って待ち受け商売ではなく、攻めの商売に変えたいと、こういう方々は車を買って改造をして移動販売をしたいと、こういうものにも使われました。今回も買い物支援事業のみならず、いわゆる用途目的がはっきりしているものについては新車を買って頂いて改造という事であれば儲けがでる可能性がございます。これは九州限定でございまして他県は100万でありますが大分と熊本だけは200万という事で25億準備をしております。そのうえで被災を受けた方々については審査の段階で加点がされますので非常に熊本の方々は使いやすく合格しやすくなっていると、ですのでぜひ申請書を書かれるときに風評被害でこれだけ売上が落ちているという事を書いていただくと非常に合格しやすいと思います。これについては先ほど園田先生からもお話しがありました。5月1日に園田先生とお邪魔致しまして、非常にゴールデンウィークのお客様が1万人キャンセルが出たという事で、現実九州でも70万泊のキャンセル150億の損失です。だいたい九州の観光が3兆円産業と言われております。このままでは3000億なくなってしまうだろうと言われておりましたので、補正予算の中に180億予算を組ませて頂いて九州に遊びにおいてよという事でプレミアム旅行券が7月から9月、10月から12月という2回に分けて特に夏休みの需要を取り込むために、熊本・大分を中心に周遊していただく2泊3日以上であれば最大70%の割引で販売されるという商品が出ておりますので、これを知っておいてお取込みいただければと思います。加えて申し上げれば八代のインバウンドの取り組みでございしますが、なんとか7月には3隻ほど来ていただけるそうです。7日、16日、20日と今までの4000名のお客様は熊本城に30台とか阿蘇に50台とかまとめたプランで来る前からだいたいルートが決まっておりました。昨日八代の松木会頭とお話ししましたら、これを受入側でいろいろ考えてくれないかという事でした。例えばバス1台30人のツアーを何十種類も持ってないと4000名のお客様は満足しない。そういう意味では何とか連携を頂いてこのインバウンドの取り組みにもご尽力いただければ非常に販路の拡大につながるかと思っております。その時に先ほど申し上げました200万円の持続化補助金でございましてけれども、1人で使えば200万ですが最大10人と取り組む事が

出来ます。という事は2000万という事がございますので、そういう応用でもいろいろなものを使っただけならばと思います。今回震災対応という事で補正予算等をこういう事で組みさせていただきましたが、おそらくこれではまだまだ足りません。3年から5年かかる復旧・復興、そういう意味ではぜひまた皆様方からいろんなご意見・ご指導を頂きながら対応していきたいと思っております。私も7月に改選時期でございますが、なんとしても熊本復旧・復興のために頑張りたいと思っておりますので、皆さまとともに頑張りたいと思います。お時間を頂きまして誠にありがとうございました。

【司会 高松】

ありがとうございました。続きまして熊本県議会議員西岡勝成様お願い致します。

【熊本県議会議員西岡勝成氏】

皆さまこんにちは。先ほどは松村先生の補助金・助成金の説明の後でございますが、戻りまして来賓としてご挨拶申し上げたいと思います。今日は天草宝島観光協会の総会のご盛会をまずもってお喜び申し上げますとともに、先ほど表彰を受けられました宮田勝栄様には本当に永きにわたる貢献、心から感謝と今後のご活躍をご祈念致します。今日は県議会から池田先生、山口先生、楠本先生、全員でおじゃまさせて頂いておりますが、代表してご挨拶させて頂きます。今日は私このバッジを付けております。ドリームイヤーと書いてあります。これは昨年広域本部の方で今年を天草の観光産業の大きな転換点にしようという事で、一つは皆さんもご案内のとおりこの7月に予定されておりました崎津集落の世界遺産登録でございます。また、五橋開通50周年、雲仙天草国立公園編入60周年と大きな節目にぜひ今まで五橋開通以来だいたい400万人前後で推移してた観光客、阿蘇も当時は同じくらいの観光客でしたが今はもう1800万人という事でずいぶん差を付けられておりますので何とかこれを一つの起点として天草の観光の飛躍を図りたいという思いがございました。皆さん方も私たちも期待してやってきたんですけれども世界遺産の方は2年先送りと、そしてこれも申請ですから、これが採用されるかどうか分からないと。今園田代議士からお話がありましたけれども、長崎県と熊本県でバックアップしていただくという状況で決して油断を許せない状況だと思っております。そしてまた2カ月前になりますけれども、大震災。天草はどうなるのかと皆様方も私たちも心配してまいりました。5月1日にある会合がございまして比較的少なかった天草が被災地に何をできるか、また今後天草にこの震災がどのような影響があるか会合させて頂きました。その席で大変厳しいご意見を頂きました。長崎県や佐賀県は熊本県民であれば誰でも無料で宿泊できる体制が出来ておりました。しかもバスで熊本まで来てタダでお泊り頂く体制が出来ておりました。熊本は何をしているんだというご意見を頂きました。その頃熊本はこの震災で18万人の避難住民をいかに水・食糧を確保し、被災された皆様方の生活支援をしていくかという事で精一杯でした。マンパワーも全く足りないような方でそのようなサービスが行き届きませんでした。しかしようやく2ヶ月過ぎて余震の方が収まりつつあります。今災害弱者の方や先ほど松村先生や園田先生からお話がありましたように九州地区に180億、プレミアム旅行券を発行して頂いてそのうちの60億が熊本

県に配布される予定でございます。私はこれを大きなチャンスとしてぜひ皆様方にも震災の影響が少なかった天草から元気を取り戻すんだというような意気込みで被災された皆様方や県外から来ていただくような体制づくりを行っていきたくと思っております。なかなかこの影響というのは簡単に収まるものではありません。私も熊本城、阿蘇、南阿蘇、西原、益城へ行ってまいりました。これは未曾有の災害でございます。この災害からどうにかして皆様方と一緒に立ち直らなければなりません。それぞれの団体でいろんなご支援を今まで賜りましたけれども天草からこの熊本の元気を取り戻すんだという気合いで頑張りたいと思っておりますので皆様方もそれぞれ知恵を出して頂いて天草の観光振興の発展の努力頂きますように祈念申し上げまして私からのご挨拶にさせて頂きたいと思っております。本櫃はおめでとうございます。

【司会 高松】

ありがとうございました。続きまして天草市議会議長脇島義純様お願い致します。

【天草市議会議長脇島義純氏】

皆さんこんにちは。最後なので自己紹介だけさせて頂きたいと思っております。6月議会から議長を務めさせて頂いております脇島と申します。今日は鎗光副議長と一緒に参加させて頂きました。先ほどプレミアム旅行券、市長から3000万というお話しがございました。9日の議会で不足部分を急遽補正しましてその日に可決をさせて頂きました。そしてここにいらっしゃる副会長の浜崎昭臣議員がいらっしゃいますが、私たちは市民目線でこれからも皆さんのためになるような議会を目指して頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。本日は本当におめでとうございます。

【司会 高松】

ありがとうございました。本日ご臨席賜りました来賓の皆様をご紹介いたします。前列左より天草市長中村五木様。衆議院議員園田博之様。参議院議員松村祥史様。熊本県議会議員西岡勝成様。熊本県議会議員池田和貴様。熊本県議会議員山口裕様。熊本県議会議員楠本千秋様。熊本県天草広域本部長兼天草地域振興局長三角浩一様。天草市議会議長脇島義純様。天草市議会副議長鎗光秀孝様。九州運輸局観光部観光部長代理地域振興課係長牟田嘉伊座様。公益社団法人熊本県観光連盟会長代理誘致部長水嶋忠明様。熊本県商工観光労働部観光経済交流局観光課長代理海外誘客班長藤芳純様。天草警察署署長笠間康秀様。本渡商工会議所会頭池田正三郎様。牛深商工会議所会頭益田政昭様。天草市商工会会長崎本弘訓様。一般社団法人天草四郎観光協会会長千原光明様。苓北町観光協会会長森昭久様。天草信用金庫理事長山田清和様。天草市芸術文化協会会長小田原満様。天草経済開発同友会会長中川竹治様。東京天草郷友会幹事長西田勝年様。天草本渡青年会議所理事長長山直仁様。宇城市観光物産協会会長代理副会長三角隆史様。天草市起業創業・中小企業支援センター長野間英樹様。上天草市市長代理観光おもてなし課長赤瀬耕作様。本日はご臨席いただきありがとうございます。中村市長、園田代議士におかれましては、公務のためただいまをもちまして退席をされます。

すいません。松村先生も退席されます。また、本日の総会に祝電をいただいております。本文は会場後方に掲出させていただき、ご披露に代えさせていただきます。ありがとうございました。では、会議に入ります前に、総会の定足数についてご報告いたします。正会員数565名のうち、本日の出席者69名、委任状の提出が306名で、計375名。過半数に達しており、会議が成立することをご報告いたします。議長については、当協会定款第17条により、議長は正会員の中から選出するとあります。いかがいたしましょうかご意見なければ事務局よりご提案してよろしいでしょうか。本渡支部の大中禎詞さまにお願いしたいと存じます。ご異議ありませんか。

【会員】

拍手。

【議長 中上】

では、大中さまよろしくお願いいたします。

【議長 大中氏】

皆様こんにちは。3年目です。ご指名を受けましたので精一杯務めさせていただければと思います。相変わらず不慣れな点があるかと思しますのでどうか皆さまご協力の程よろしくお願ひします。では着席をして議事の方を進めさせていただきます。まず、総会の議事録の作成の方を事務局、署名人の方を本日ご出席の井上製茶の井上様、つい目に入った浜本くんよろしいでしょうか。

【井上氏、浜本氏】

はい。

【議長 大中氏】

よろしくお願ひ致します。まず議案第1号平成27年度事業報告並びに決算の承認についてを議題とします。事務局に説明を求めます。

【事務局 岩見】

事務局長の岩見でございます。只今から説明をさせていただきます。長くなりますので着座にてご説明をさせていただきます。資料3ページ、観光宣伝及び観光客の誘致では支部の事業やグルメフェアなど観光情報全般を各種メディアで発信してまいりました。中でも今年3月から5月15日まで実施した「天草うに三昧」で地元テレビ取材、番組制作、スポットCMを実施致しましてその結果、期間中の売り上げは4,350万円となりました。ホームページ・スマートフォンサイトの活用として「女子スタッフがおすすめする天草の楽しみ方」が好評で、天草五橋50周年を記念して橋の特集を掲載しておりますので皆さまにもぜひご覧いただければと思っております。ホームページのアクセス数は昨年度も100万以上となりました。

が、さらにアクセス数をアップさせるため、特にスマートホンのサイトの充実に取り組みました。4ページです。各種キャンペーンの実施及び販売促進活動のイ)販売促進活動としては、昨年5月に開催されたスウェーデン大使館で行われた観光イベントに参加、サンタクロースの聖地としての情報発信を行ったほか、各地で情報発信や誘客に向けての各種会議やイベント等に参加いたしました。7ページの30番TKUでのように三昧PRまで多岐にわたりますので、後程ご一読ください。7ページ、ロ)各種キャンペーンの実施といたしまして、夏のあまくさサンドアートフェスティバル、冬のあまくさロマンティックファンタジーなどそれぞれの実行委員会と連携し、季節ごとの集客に取り組みました。ハ)また昨年は、熊本県より「御所浦滞在型交流促進事業」を受託、宿泊者に対し、無料のクルージングを提供し、その広報活動を通じ御所浦地域の宿泊者数の増加に取り組みました。(3)イベントでの誘客展開です。イ)各支部で事業については、先にお送りしている別冊の資料でご確認ください。ロ)サンタクロースの聖地・天草推進事業では、国からの補助事業の負担金でもありませんので、当協会の事業については後程説明いたします。その他 鹿児島で開催された国民文化祭での牛深ハイヤ披露の支援、また、全国から112名の選手が集まったXアスロンを支援いたしました。(4)招待事業及び誘致活動の推進では九州観光推進機構が主催する日本航空及び傘下の旅行会社の招待事業を受け入れたほか、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなすなど大型客船の受け入れを行いました。なお、大型客船の来航時には郷土芸能の披露、湯茶接待、物産の販売、表敬訪問などを実施致しました。(5)誘致促進展開またそのための各種特典の提供としてイ)熊日新聞との共催による写真コンテストの開催、昨年度は74名、244点の応募がありました。ロ)その他、各イベントや招待事業などで特産品の提供を行うなど、PRに努めております。ハ)天草マラソン実行委員会より市外からの参加者を対象とした抽選会を受託ニ)サンタクロースの聖地の取り組みの一環としてサンタクロースが植えた天草産イチゴ「ミセスサンタ」を使用したイチゴのお菓子フェアの開催。ホ)パンフレット袋の増刷。へ)はっぴ制作ともパンフレット、ホームページ等で使用しているボーダー柄として、この袋ですが、今日は山田理事長もいらっしゃってますが、天草信用金庫でも採用して頂いて通帳のデザインにもなっております。(6)ボランティアガイドの活用イ)当協会が事務局を務める「天草宝島案内人の会」の活動を支援、天草ぐるっと周遊バスへのガイド派遣、島内ガイド団体との連携などを行いました。また、崎津地域においては、ガイド団体の一本化を図りました。ロ)天草市からの業務委託としてガイド養成講座を開講致しました。座学5回、現地研修2回を実施し、全課程修了者に「終了証」を授与、案内人の会へは8名が入会し、ガイド活動を行うこととなりました。(7)フィルムコミッションの展開、平成27年6月に放送された土曜ワイド劇場「広域警察」告知枠に伴い、旅番組テレビ朝日系列【旅サラダ】のロケ支援を行ったほか、テレビ番組、雑誌、CM撮影などの情報提供や撮影協力を行った。また、ジャパンフィルムコミッションの総会やF Cnet九州・山口実務者協議会に参加し、会員同士の情報共有と担当者のスキルアップを行ったところです。実績は以下のとおりでございます。11ページ下段から2観光資源の開発及び保護育成では、旅行商品造成を促進するため旅行商品造成助成金要項に基づき商品造成と集客を促進した。実績は記載のとおり12件、1047人です。また、栖本地区振興会より「小ヶ倉かんのんウ

オークモニターツアー業務」を受託、モニターツアーを実施いたしました。3 観光資源に関する調査研究並びに情報収集・提供（1）専門家による調査研究としてバリュークリエイションサービス佐藤真一氏に観光協会の運営、事業推進などについて年間を通じアドバイスをいただきました。また、天草女将会が主催する「九州ヘルスツーリズムフォーラム」を支援いたしました。地域別研修会におきましては、インターネットを活用した宿泊客獲得のための勉強会、また、写真撮影を含めて SNS の活用法などについての勉強会を開催したほか、各種研修会に参加致しました。実績は記載のとおりです。4 観光客受け入れ態勢の整備、観光案内業務の中でも崎津に関しては長崎の教会群インフォメーションセンターで開催された研修会に参加した他、事前申し込み制度の確立に向けて連携を図りました。観光案内所として設置した9か所の観光案内業務の実績は13ページの表のとおりです。天草島民総おもてなし運動では、「おもてなし宣言」の登録を呼びかけたほか、おもてなしフェスティバルを2月に開催し、功績があった個人、団体を表彰いたしました。ルート開発として第3旅行業を活用し、ごしょうら島あじマラソン大会実行委員会等との連携による宿泊手配を行うなど、着地型旅行商品を造成・販売し、昨年度の2倍の804名の実績となりました。観光情報媒体の作成と改訂では会員店舗に呼びかけ新たにランチブック作成、またマップ、各種パンフレットの改訂を行いました。パンフ、マップ、ランチブックに関しましては事務局に用意しておりますので不足がございましたらご一報いただければと思います。（5）新宿泊予約システム導入し当協会ホームページは100万アクセス以上のアクセスがありますので訪問者の利便性向上と宿泊客獲得のため、宿泊施設を集めた説明会等を行い新宿泊システムを導入し、現在30軒が参画して頂いておりますので一度ご覧いただければと思います。5 観光関係諸機関との連絡協調（1）県内周辺自治体及び長崎県、鹿児島県内自治体との連絡協調、4市1町観光協会連携会議、出水・長島・天草地区観光推進連絡協議会や阿蘇・熊本・天草観光推進協議会と連携し、共同で観光PR等を実施しました。天草五橋50周年、雲仙天草国立公園編入60周年に向けて「VISIT あまくさプロジェクト実行委員会」メンバーとして、会議やイベントに参画しました。（2）その他団体との連携熊本県下のツーリズム団体で組織する熊本ツーリズムコンソーシアムに企画運営委員として参加しました。さらに「天草ほんどハイヤ祭り実行委員会」、「天草宝島物産公社」など20余りの委員会に属し会議等に出席、大会や祭りの際に運営に関わっております。東アジアや欧米からの観光客誘致、加盟している外国人観光客誘致連絡協議会主催の商談会などに参加しました。また、天草女将会と連携し、外国人観光客受け入れについてセミナーを実施しました。そのほか熊本県交通政策課と合同での台湾にセールスに行ったり、雲仙天草観光圏協議会との連携により誘致に努めたところです。教育関係者との共同事業ですが、島内の教育旅行受入施設や交通事業者、体験提供団体で組織する「天草教育旅行受入協議会」の事務局として受入体制の整備に取り組んでまいりました。教育旅行の専門家を招へいしパンフレット作成に向けた専門委員会の開催を行いました。6. 雲仙天草観光圏協議会の事業は、19ページをご覧ください。島原半島3市と宇城市、天草2市1町及び熊本、長崎両県で連携し、インバウンド誘致対策として外国人観光客の誘致に向けた事業、修学旅行など教育旅行誘致に向けた事業、そして世界遺産やキリスト教の歴史などをテーマにした国内旅行の誘致に取り組みました。27年度事業

費総額は1181万円で、両県が補助金を頂いて、現在当協会の負担は71万6千円程度です。7. 特産品としてサンタサイダーを開発し、また、サンタクロースの聖地事業に沿う形で国の補助事業を得て、会員企業とサンタクロース関連商品の開発を行いました。このことに関しては資料30ページをご覧ください。平成26年補正予算として公募された「ふるさと名物応援事業」は、各県が指定する「地域産業資源」を対象として、そのブランド推進と販路拡大を目指す事業で、「サンタクロースの聖地・天草」に関連する商品開発を行いました。会員企業へご案内し、参加を表明していただいた10社と市場調査、勉強会、販売会を開催いたしました。3分の2補助で約464万円をもとに約750万円をいただき、合計1200万円の事業となりました。今後は、「サンタクロースの聖地・天草推進協議会」と連携し、地域ブランドとして確立をめざし、さらに参加企業を増やしていきたいと考えております。元に戻っていただきまして、8. ポルト指定管理受託。3年で契約をしておりますので、本年が最終年となります。利用状況は下記表のとおりです。今年1月より天草市観光振興課とまちづくり支援課が入所しましたが、知名度も上がってきたようで、利用が増えております。今回の地震の影響で本庁舎使用に不具合がでているようで、本年7月中旬頃に2課が入居を予定することとなりました。ですので、2階は市役所の係が複数入ってくるという事になりそうです。事業報告については以上ですが、決算の報告を総務部チーフ城下より説明致します。

【事務局 城下】

23ページ貸借対照表をご覧ください。資産の部流動資産合計13,211,753円、その他資産10円、資産合計13,211,763円。負債の部、負債合計6,277,155円、正味財産の部、負債及び正味財産合計13,211,763円になります。24ページ一般会計正味財産増減計算書についてご説明致します。一般正味財産増減の部(1)経常収益③受取会費収益5,055,000円⑥受取補助金等99,912,000円⑦受取負担金4,218,888円⑨雑収益2,000,098円、経常収益計111,185,986円(2)経常費用①事業費107,955,985円②管理費1,787,790円。経常費用計109,743,775円。当期経常増減額1,442,211円。当期一般正味財産増減額1,442,211円。一般正味財産期首残高5,492,397円。一般正味財産期末残高6,934,608円。正味財産期末残高6,934,608円となります。次に27ページの特別会計貸借対照表をご説明致します。資産の部、流動資産合計4,174,492円。負債の部、流動負債合計2,480,768円。正味財産の部、一般正味財産合計1,693,724円。負債及び正味財産合計4,174,492円となります。28ページ特別会計正味財産増減計算書についてご説明致します。一般正味財産増減の部⑤事業収益25,486,151円⑨雑収益1,185円、経常収益計25,487,336円。(2)経常費用①事業費25,821,401円②管理費520,100円、経常費用計26,341,501円、当期経常増減額-854,165円。一般正味財産期首残高2,547,889円、一般正味財産期末残高1,693,724円となります。

【議長 大中氏】

ありがとうございました。それでは平成27年度事業報告と決算報告につきましては事前に監査を受けておりますので、田崎監事より監査報告をお願い致します。

【監事 田崎氏】

こんにちは。監事の田崎でございます。平成27年度の監事監査報告を致します。32ページでございます。平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の会計及び業務の監査につきまして私と井下監事の2名にて四半期ごとの定期監査、そして5月13日に定期監査並びに決算監査を行いました。天草宝島観光協会事務局におきまして岩見事務局長他1名の職員立会いのもとで帳票、関係書類並びに預金通帳との突合精査を行いました。会計監査の結果は貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに収支計算書案、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状況、正味財産の増減状況並びに収支の状況を正しく示していると認めます。また、事業報告書は法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示していると認めます。最後に業務監査については平成27年度の理事会に出席を致しまして各理事の業務執行状況は妥当であった事を認めます。以上、ご報告申し上げます。

【議長 大中氏】

田崎監事ありがとうございました。只今事務局から説明があり、また監事よりもご報告がございました。事業ならびに決算につきまして、ご意見・ご質問をございます方は、挙手にてお願いします。

【本渡支部 吉盛氏】

震災後の対応についてお尋ねしたいんですけども、ゴールデンウィーク直前だったという事で宿泊関係に相当キャンセルが出ているという話を聞いたんですけども、私は交通関係で交通関係も相当キャンセルが出ております。ゴールデンウィークだけで20件、金額にすると50万くらいキャンセルが出ました。イルカウォッチングとか定期船等もキャンセルが出たという話も聞いておりますし、震災があった14日から4日間くらいドタバタと20件くらいキャンセルがありました。宿泊関係はもっとひどかったらろうという事で19日くらいには市役所に相談に行ったんですよ。被災者が出ているから、もともとゴールデンウィークというのは稼ぎ時だから宿泊関係にだいぶキャンセルが出てるんだったらお風呂も入れない被災者の方もいるから例えばその穴の開いている部分を宿泊費用を3分の1くらい安くして泊まらせるようにしたら被災者支援にもなるし、天草は大丈夫だという事がSNS等ですぐ拡散してそのような情報は日本中に広まりますので風評被害もある程度は防げるのではないかという事で。

【議長 大中氏】

すいません。質問の趣旨を簡潔にお願いします。

【本渡支部 吉盛氏】

すいません。上天草がそのあと宿泊に対する補助を4月中には、ここに上天草市の関係者の方もいらっしゃるんですけども、その補助を3分の1くらいするという事で、天草市議会の方でも最近決まったという話が出たんですけども、こういう事はあまりないのかもしれませんが、こういう風な大きな災害や事故が起きて大きな風評被害で損害が起きたときに観光協会の会長さんのもとで軌道的に各部会の部会長さん等を集めて早めに対策をするという事が出来なかったのかなと考えています。

【議長 大中氏】

質問の趣旨を簡素化しますが、こういう予想だにしない災害が起きた際天草宝島観光協会の会長をもとに何らかの対策をこうじられたのかという事でよろしいでしょうか。趣旨を明確にしてください。

【本渡支部 吉盛氏】

いろんな対策が遅かったのではないかと思います。

【議長 大中氏】

これは質問ですか。ご意見ですか。

【本渡支部 吉盛氏】

意見です。

【議長 大中氏】

意見ですね。わかりました。ではこの意見に対して執行部どなたか対応されますか。

【事務局 岩見】

ご心配されることについてまだご報告していない部分がありますので、まず4月14日16日で地震が発生致しました。私ども18日の月曜日から毎週月曜日を起点として天草市内の全宿泊施設に電話での聞き取りを行ったところです。状況もその都度その都度変化をしてきましたけれども、5月9日の最終調査の段階ではキャンセル数が1万1千人分、売上に関しては例年の約4割、60%の減という事がわかってきました。その他イルカウォッチングが非常に厳しい状況に立たされたりですとか、イベントが中止されいろいろな影響がでてまいりました。熊本県レベルでお話しをしますと熊本は熊本県ホテル旅館衛生同業組合と災害時における被災弱者の一時的な受入と担当は熊本県の薬務衛生課でありましたけれども協定を結んでおりました。1件7560円分を県が負担するという事で行っておりましたけれども、それはうまくマッチングがいかなかったという事もありました。一方で天草市がいち早く打ち出して頂きました宿泊費用の半額補助については被災者支援策として熊本県民を対象としたもので、この取り組みは若干ムラがあったかとは思いますが非常に功を奏

したという風に私どもは見ております。それから先ごろ新聞等でも発表になっておりますけれども現在天草市の方で現在開会中の議会におきまして先ほど議長さんからも説明がありましたけれども、補正を組んで頂きましていち早く旅行券の発行について準備をすすめている状況でございます。なかなか発表できている部分と説明できていない部分とありますので、ここで聞いて頂いてお伝えする機会をくださったことは非常に良かったと思います。

【議長 大中氏】

はい、よろしいでしょうか。

【本渡支部 吉盛氏】

説明して頂いてよくわかりました。

【議長 大中氏】

他にありませんでしょうか。無いようですので平成27年度事業報告並びに決算の承認についてご承認いただける方は挙手をお願い致します。

【会員】

挙手過半数。

【議長】

はい。挙手多数と認めます。よって議案第1号は承認されました。ありがとうございました。次に議案第2号の役員の承認についてを議題と致します。事務局より説明をお願いします。

【事務局 岩見】

資料33ページをご覧ください。役員の承認でございますが提案理由といたしましては、天草市の理事であります。渡邊課長が地域政策課へ移動されまして辞任届が提出されましたので理事候補者一名について諮るものでございます。定款において総会は理事及び幹事の選任または解任について諮るものという事がありますのでよろしくお願い致します。議長大中氏理事候補者の紹介をお願い致します。

【事務局 岩見】

33ページにございますが鳥羽瀬一文さん、天草市観光振興課長でございます。

【議長 大中氏】

ではお諮りしたいと思います。理事についてご承認いただける方は挙手をお願い致します。

【会員】

挙手過半数。

【議長 大中氏】

はい。挙手過半数として理事候補と致しましては鳥羽瀬一文さまが原案とおりに可決となりました。ありがとうございます。次に報告第1号平成28年度事業計画並びに収支予算書につきまして事務局からの報告をお願い致します。

【事務局 岩見】

資料の34ページです。平成27年度最後の理事会で成立しておりますのでご報告となります。まず基本方針からです。天草の産業振興は観光推進でとう基本方針をもとに5つの柱で観光産業を推進していきます。旅行商品の開発、食・土産品の開発、広報展開、新宿泊予約システム活用、おもてなし草の根運動の5つでございます。旅行商品開発ですが、第2種旅行業の取得で積極的な誘客を図っていきたくと思います。交通機関を組み合わせた旅行商品の造成販売。特に天草エアラインを活用した商品を開発したいと考えております。多数の商品造成でリピート客を獲得。食の観光化を推進。特に天草の代表的食材でもあります、魚・天草牛・天草大王・寿司でございます。土産品開発ですが、サンタ商品の開発と通年販売。世界遺産関連開発。農協・漁協など他団体との連携開発。広報展開につきましては、Web、各種媒体を活用した効果的な情報発信。サンタクロス年間PR展開。新宿泊予約システムの活用ですが、ホームページからの宿泊予約の拡大。おもてなし草の根運動、天草全島の掃除の徹底でさわやかなおもてなしという事でいきたくと思っております。35ページから具体的な事業と予算を書いております。1. 観光宣伝及び観光客の誘致20,251,000円でございます(1)メディアを活用した情報発信(2)各種キャンペーンの実施及び販売促進活動(3)イベントでの誘客展開(4)招待事業及び誘致活動推進(5)誘致促進展開(各種特典の提供)(6)観光ボランティアの活用でございます。2. 観光資源開発及び保護育成6,000,000円でございます。(1)観光商品開発は先ほどもありましており、旅行業二種の取得を進めていきたくと思います。(2)土産品開発ですが専門家の招聘を中心に行っていきたくと思います。3. 観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供1,500,000円でございます。私どもが手の届かない部分は、専門家の力を借りながら(2)共通テーマによる講演会の開催ですが、宿泊プランの造成は各お宿さんとプラン造成について勉強を進めていきたくと思います。4. 観光客受入態勢の整備8,850,000円です。(1)観光案内業務の充実は南の玄関口である牛深と下田温泉ぷらっとの観光案内所を運営してまいります。(2)おもてなしの向上事業は天草島民総おもてなし運動を展開し、おもてなしの最も基本的な「清掃」をテーマにした実践に入りたいなと思っております。(3)情報媒体の作成は継続してホームページ・スマートフォンサイトの運営を行っていきたくと思います。常に新しい情報を載せるのはもちろんですが、好評であります女子スタッフの特集も続けていきたくと思います。5. 観光関連諸機関との連絡協調が2,200,000円でございます。(1)県内周辺自治体及び長崎県、鹿児島等、隣県との連携を進めてまいります。特に今年は天草五橋50周年・国立公園指定60周年記念事業が予定されておりますので、積極的に関わっていきたくと思っております。

(2) 外国人観光客誘致、2020年東京オリンピックの開催に向け、宿泊施設等での受入整備を図っていきたいと思っております。また海外からの大型客船の近隣港への就航時に市内への誘致を積極的に図りたいと思っております。(3) 教育旅行関係者との共同事業で天草教育旅行受入協議会及び熊本県教育旅行受入促進協議会との連携により、関西以西の公立中学校をメインターゲットとした修学旅行等教育旅行の誘致活動を進めていきたいと思っております。それから第二種の旅行業の登録のために2,000,000万円の予算をつけております。7. 天草宝島国際交流ポルトの指定管理の受託でございますが、一応平成29年度3月31日まで天草市と今後も協議を進めていきたいと思っております。事業計画については以上です。予算について総務の方から説明させます。

【事務局 城下】

40ページ収支予算書についてご説明致します。一般正味財産増減の部1. 経常増減の部(1) 経常収益、受取会費5,500,000円、受取補助金等76,728,000円、雑収益351,402円、経常収益計82,579,402円(2) 経常費用、事業費87,623,470円、管理費1,890,530円、経常費用計89,514,000円、当期一般財産増減額-6,934,598円、一般正味財産期首残高6,934,598円となります。43ページ、特別会計の収支予算書についてご説明致します。一般正味財産増減の部、1. 経常増減の部(1) 経常収益、事業収益37,036,200円、雑収益1,176円、経常収益計37,037,376円、(2) 経常費用、事業費37,887,000円、管理費844,100円、経常費用計38,731,100円、当期経常増減計-1,693,724円、一般正味財産期首残高1,693,724円となります。

【議長】

はい、ありがとうございました。只今事務局よりご報告がありましたが、これにつきまして皆さまご質問ご意見等はございますか。

【牛深支部 福岡氏】

43ページの増減額がマイナスになっているのはなぜですか。

【議長】

事務局お願いします。

【事務局 岩見】

44ページをご覧いただくとそこに一般正味財産期首残高1,693,724円、これを使い切るという事の意味のマイナスでございます。

【議長 大中氏】

よろしいでしょうか。

【牛深支部 福岡氏】

事業がマイナスになっているという意味ですか。

【事務局 岩見】

違います。44ページのところに16,934,724円ありますのでそれを使い切る予算であるというところで決してマイナスになっているというわけではありません。

【牛深支部 福岡氏】

赤字ではないんですね。

【事務局 岩見】

赤字ではないです。赤字の予算は作りません。

【議長 大中氏】

理解のできる表示をお願い致します。他には質問ございませんでしょうか。

【本渡支部 小山氏】

収支予算書の中で旅行商品の販売事務手数料が前年度が50万、今年度の予算額が500万となっております。これは会長がおっしゃった旅行商品の造成という事で3種から2種にあげての販売という事でしょうけれども、それに対して500万というのが当初の10倍となっております。これの販売計画とか、どのような旅行商品の造成を計画されているのかご説明をお願い致します。

【事務局 岩見】

実は私どもの中ではこれまで50万円の経常というのは経費を全部差っ引いて残ったものだけを50万円としていったものを、今年度から500万円の売上にするという事になりますのでその分実を言うと経費としてまたかかってきますので金額的には同じ50万円になります。説明がうまくいきませんが、今までは収益だけ経常していたものをこれからは売上全体を表記するという方向に変えたという事でございます。

【議長 大中氏】

よろしいでしょうか。

【本渡支部 小山氏】

それは大丈夫なんですけれども、これに対して販売計画はどのような方法で造成されてどの

ような方法で告知をされるかという事をお聞きしたいんですけれども。

【事務局 岩見】

私どもの中で現状行っているのが着地型旅行商品の造成と販売は当協会のホームページで行っております。当初に比べてかなり問い合わせが増えておりまして、件数としては先ほど27年度のご報告を行いましたけれども26年度に比べて倍の売上になってきているという事でありまして、1つは三種というのは今までの規制緩和の中で旅行商品が扱えるというだけだったものが二種になることによって現在は隣接する市町村からの商品、例えば私どもでいうと上天草に到着された方をバスでお迎えするという事は可能なんですけれども、宇城市とか宇土市からは商品が作れないという事になります。これは二種の獲得によって全国から受入られますので東京であったり福岡だったり、関西であったりやっっていけるというのが一つです。もう一つ現状としては着地型商品でも体験メニューでしか募集しておりません。これを宿泊をパッケージにした商品として開発できるという風に考えておりますので売上もある程度見込めるのではないかと考えております。具体的に2つ告知方法があって一つはホームページ、100万アクセスを超えるホームページをさらに拡大していくという事が1点、それと色々な各種媒体を使わせていただくという事で作り上げていきたいという風には思っております。

【本渡支部 小山氏】

ありがとうございます。第三种と第二种の違いというのは分かったんですけれども、第三种からだいぶされてますよね。一般社団になってから旅行業を開始されたんじゃないかと思えますけれども、その中で第三种は手数料が非常に安かったんじゃないかと思えます。ですから収益が少なかった。広範囲において旅行商品を造成することによって利益率や売上も上がっていくという事になると思うんですけれども、相当旅行会社含めて他のところがあるかと思えますので私としては、エールを送って旅行商品を造成して天草の方に誘客して頂ければと思っております。

【議長 大中氏】

ありがとうございます。では次の方お願いします。

【牛深支部 西嶋氏】

38ページの一般会計の部分です。収入がだいたい2000万円くらい減っております。支出の方も抑えられていると思いますので見てみますと支部の費用もかなり削減されています。少ない支部の予算をさらに減らすという事で、確か昨年質問した時に市の補助金等が減っていくのでどうされますかというときには収入を得るように頑張りますという事でしたが、予算を見てみますと支部の予算が減っている、事業費も減ってはいるんですけれども、どんどん0になっていくのかなという事で、そうしていただくと支部も大変だと思いますし、毎回支部の話しか私はしませんけれども、支部を大事にしてほしいというだけです。なぜそ

うなったのかを説明して頂きたい。支部はやはり犠牲を払わなければいけないのかと、特に本渡と牛深が減っているのでそうしますと会員増もできなくなるという、会員を増やすように私たちも努力致しますけれども、自己資金も増やそうと思うんですけれども、予算が減るとやる気が無くなって支部の力が落ちていくというのが気になって仕方ないんですね。その辺を今後どう考えていらっしゃるのかをお願いします。

【事務局 岩見】

まずは支部の予算が減っているとおっしゃいますが、実態としては支部に分配される予算は減っておりません。ただその中で二重の協賛金、要するに市の言い方ですけれども、市から直接ダイレクトに地域の実行委員会に流れる協賛金と観光協会を通じた協賛金の流れ方、この二重になっているのはいかがなものかという是正を受けまして、天草市の方に一括して協賛金については管理するという事でありましたので、各支部の中の協賛金の部分が市の判断で削ってあるという状況です。

【牛深支部 西嶋氏】

今の話を聞きますと市の予算が観光協会とかではなく直接という事でしたが私どものところを聞いてみますと実際は予算はいついていないという事でした。という事は観光協会の予算も減らされているだろうと思いますけれども、支部の予算は市がこう言ったから本部の方で減らしましょうという事ではなくて違うところを減らして頂いてなんとか支部の方を維持するというのが皆さま頭がいいのでそう図って頂きたいと思います。私たちはそういう能力がないので市がダメだったからダメだということ本部がどのような仕事をして、我々がどのような事をすればいいのかという感じが致しました。特に牛深ハイヤ保存会というのがありまして予算が0になりました。様々な依頼を受けても、もう行けません。保存会となって動く観光宣伝隊という事であったんですけれども、その予算が全く無くなってしまってどうしていいのかわからない状態なので、逆にいい知恵を観光協会から頂きたいと思います。支部のエネルギーを減らすようなことはやってほしくないというのが支部の意見です。答えはなくても結構です。

【事務局 岩見】

一昨年支部の予算について総額の中の3分の1を支部の予算としましょうという事で当時の総務委員会の方で決めて頂きました。一定の方針が出たという事でございました。ただ、その方針に従うと実は28年度予算の中の支部予算というのは大幅に削られる事になっておりました。ただ、それは良くないだろうという執行部の判断で実は支部に分配される予算については何とか維持していこうという事でありました。ですので、全体的には市の方から頂く補助金は減っておりますが、割合としては支部の予算というのとは何か昨年とほぼ同じレベルでキープをさせて頂いたという事でご理解いただければと思います。ただ支部の在り方予算の在り方、一般的な予算の執行の在り方については理事会も含め、皆さんと一緒に協議をさせて頂ければと思っています。ありがとうございました。

【議長 大中氏】

他にございませんか。

【牛深支部 田中氏】

3点ほど質問があります。まず熊本県の観光の目玉として九州港オアシス、天草牛深が25年で登録されておりますが、本当に宝とした中には本部の方においても支部の方においてもほとんど活用がなされていないということで宝の持ち腐れになったような状況でございますが、ほとんど観光のパンフレットを見ても港オアシス天草牛深は本当に小さく載せてあるという事で一般の方々には浸透してない状況でございます。もうちょっと本部の方で力を入れて活性化させて経済波及効果が及ぶような熊本1の海の観光地でございますのでぜひ本部の企画とか資金力でまだまだ活性化を図るようお願いしたいと思います。それとハイヤが天草に2つあるという事で非常に多方面からも不思議がられ、どっちがハイヤかという事で各方面から尋ねられ答えに困っておられる方もおられるかと思えます。この天草にハイヤが2つあるという事では本当の幸せはこのままでは来ないような状況ではないかと私どもも街づくりしながら牛深ハイヤを誇りに思っているいろいろな方面に行く中で、天草市内に2つあるという事がまだまだ1本化されていないという事もありますのでぜひそこもみんなで調整しながら何かの形でまとめて頂ければと思います。3点目は大型客船のにつぼん丸やぱしふいっく号は牛深が本当の寄港地であったのが年々本渡に主体を置かれて牛深が本当に何もなくなっていくという事で、よそから来られた人は朝日や夕日、あそこで見るロケーションでハイヤを聞きながら町巡りするという事に憧れながらリピートされる方が多かったわけですが、去年の台風から本渡を寄港地にするような事が起こっておりますのでまた牛深の方も大型客船の寄港地として運動してもらうようによろしくお願いします。

【議長 大中氏】

ただ今の質問は観光の目玉があまり活用されていないのではないか、特に牛深の扱いが小さいのではないか、ハイヤが天草に2つあるのはおかしいのではないか、1本化するべきではないか、大型客船はもともと牛深だったでしょう、何で本渡に行ったんですか、もっともっと牛深に力を入れてください。という事ですが事務局お願いします。

【事務局 岩見】

港オアシスの事に関しては今後の取り組みの中でなんとか活かしていければと思います。その点についてはご意見として伺わせていただければと思います。ハイヤについてはそれぞれの地域団体と言いますかそれぞれの文化の取り組みでございますので私どもがここで発言すべきことではないかと思えます。また、牛深に来ていたぱしふいっくびいなすですとか、につぼん丸ですとか確かに本渡港に寄港することが多くなっていました。残念ながら私どもがこちらの港にあちらの港にという風をお願いをしているわけではなくて先方ですでに決めて来られるという事が多くなっております。ただ本当の寄港地という意味が私にはいま一つ分からないのですが、ぜひ牛深も候補の中にぜひ入れて頂きたいというのは今後の営業の

中で続けていきたいなという風には思っております。

【議長 大中氏】

なかなか総会の場での協議が難しいものですから、昨年もお願ひしたかと思うんですけどももっと支部の中で意見を出して頂いて、少数ではないですけどももっと専門の分野で議論して頂いていい意見いい方向性も出てくるかなと思いますので、どうかそのところはお理解頂きましてよろしくお願い致します。他にございませんか。

【牛深支部 福岡氏】

この給与手当の減額されて2700万円になってますが、給与手当の明細と言いますか誰がどれくらいもらっていたか9名くらいですか、内訳を言いにくいかと思ひますけれども。

【議長 大中氏】

このへんについてはあまり総会においてはふさわしくないのかなと思ひますが出せますか。

【事務局 岩見】

ここでの発言は控えさせていただきたいかと思ひます。

【議長 大中氏】

後ほど事務局の方からご報告があるかと思ひますのでよろしくお願い致します。本日は平成28年度の事業計画及び予算案についてはすでに理事会において承認を得ていますのでご報告という形でありますので、そのへんを皆さんご理解をお願い致します。それではここで執行部より熊本地震に関連して報告がございます。これを許しますので平成28年熊本地震対策特別委員会馬場委員長よりお話しがございます。

【本渡支部 田口氏】

その前に1つ質問をよろしいでしょうか。

【議長 大中氏】

はい。

【本渡支部 田口氏】

突然すいません。新聞紙上でサンタクロース会議についての話題は出てましたけれども、それに関しましてこの事業計画の中でサンタクロース、サンタ商品開発等入ってますけれども、これについてはどのようにお考えでしょうか。会議が中止になったうんぬんはお聞きしませんけれども、28年度に対しての対応、市民に対する意識対策ですね。そのあたりをお聞きしたいのですが。

【事務局 永田】

サンタクロース会議ですけれども、新聞等で報道があったように第3回目で終わりです。4年目からは新しいスタイルのサンタクロースの聖地としての取り組みを今後進めていきます。なぜサンタクロースかというのは私もあちこちで話すんですけれども、世界中の誰もが知っているという事で非常に売り出しやすいというか周知度が高いという事と、それから私は北欧とつながることは非常にいいことだと思っております。北欧の企業競争力というのは私たちはなかなか北のヨーロッパの方はよく分かりませんが、企業競争力は世界3位です。IT分野では世界1位です。日本は今IT23位くらいです。そういう事で世界一の福祉国家でもありますし、今から先は北欧の国と結びついていくのは非常にいいことだと思ってこれは進めていきたいと思っております。市民の皆さんへの周知ですが今度会議があった後に記者会見を開いてきちんとした方向性を示したいと思っております。

【本渡支部 田口氏】

子供たちに夢をとという事でされてたと思えますからその点をやはりきちんとして頂かないと今年はなんで来ないのという事になりますのでよろしくお願い致します。

【事務局 永田】

はい、承知致しました。

【議長 大中氏】

もう質問はございませんね。では馬場さんお願いします。

【平成28年熊本地震対策特別委員会 馬場委員長】

皆さんこんにちは。ただいまご紹介頂きましたこの度の地震を受けまして観光協会の中に地震対策特別委員会というものを急遽設置致しました。私は委員長という事になりました馬場と申します。先ほどもございましたけれども、この地震を受けて天草の観光業、疲弊をするといえますか一時的に非常に落ち込んでおります。これが長期化をする恐れもございます。そういう中でどういう手を打っていくか今対策特別委員会の中ではちょくちょく会議を開いて対策を市に要望したりとか皆さんでどうやって努力していくのかという事で今頑張っているところでございます。そこで今日はこの総会の中でせつかなので皆さん自分たちでも頑張ろうという決意を込めて宣言文を発表させていただきたいと思えます。地震発生から2ヶ月、想定もしていなかった熊本地震でここ天草はインフラと人的被害こそ少なかったけれども、基幹産業である観光業においてはまさに被災地そのもの。それまでたくさんの笑顔を運んでくれた人々の姿を全くと言っていいほど見なくなりました。これまで積み上げてきた観光PRをやイベントでこの島へ誘客を図るために寝る間を惜しんで努力してきた市民の努力も一瞬にして消し去ることになったのです。しかし、自然の痛みの前に私たち人間は誰を恨むことも時計の針を元に戻すことも出来ません。ただ前に進むことしかできない

のです。これから長い闘いになるかもしれないけれども私たちは決して諦めず、日本の宝島天草の魅力を再発見し、磨き上げることで島民自らが誇りと自信をもって待つその時までど
ん底から這い上がる努力をみんなで続けていきましょう。地震発生後心配してすぐに駆け付
けて頂きました中村市長をはじめ、市・県の関係者の皆さまにはその後も国への要望活動等
で努力して頂き、様々な対策を取って頂きましたこと、心から感謝いたしております。今回
の非常事態はただしてもらって待つのではそれぞれの事業者もこの先生き残れないとい
う事を私たちに分からせてくれました。行政に頼るばかりではなく自らも行動する。無尽蔵
に予算が付くわけでもありませんので官民一体となって出来ることから始めましょう。そし
てこの危機を乗り越えましょう。そこで今回この決意を内外に示し、心を一つに頑張るた
めに宣言文を発表し、ご採択頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。ただいま皆様
方に宣言分の案をお配りいたしました。これを読ませて頂きたいと思っております。宣言文（案）
2016年4月誰もが地震から最も遠いと思っていた我が熊本に震度7という巨大地震が
2度も発生した。阪神大震災、東日本大震災と2度の巨大地震を経験していた日本人は、そ
の教訓から今何をすべきかを考え行動する事が出来たため翌日からすぐにたくさんの支援
の手が差し伸べられることとなった。私たちは被災者になって初めて気づく人の優しさ
に感謝をしつつ1日も早い復興を目指し、会員が一致団結して次の事に取り組む事をこ
こに宣言する。一つ、観光業は天草の基幹産業である事を再認識しつつ確認し事業と雇
用を守るため経営者自らが先頭に立って行動する。二つ、ピンチをチャンスに変える事
が出来るのは観光に携わる我々会員であることを自覚し、これまでの常識をくつがえ
す覚悟を持って復興に向けた取り組みに全力であたる。三つ、観光業に無くてはな
らない車の両輪である我々一般社団法人天草宝島観光協会と天草市は今まで以上に
この危機に対応すべく迅速な情報共有と連携を図り必要な対策は間髪いれずすみ
やかに実行する。四つ、特に被害の大きかった地域の方まで天草が行動を起こす事
で元気と勇気を与え被害の少なかった他の地域とも連携し現状の正しい情報を発信
する宣伝活動等、熊本全体の復興を目指した行動を行う。五つ、観光とは人々が感
動と希望の光を求めて巡る旅であるという事を忘れず天草を訪れる人々に感動と元
気を持ち帰ってもらえるように今だからできるおもてなしの教育を徹底的に行う。
という五つを読ませていただきました。平成28年6月15日一般社団法人天草宝島
観光協会。ぜひ、この宣言文を皆さまご採択いただけますでしょうか。

【会員】

拍手過半数。

【平成28年熊本地震対策特別委員会 馬場委員長】

ありがとうございます。ではこの宣言文を会員の皆さま、そして内外に広く発信をし
とにかく人に頼るばかりではなく、今皆さんでこれから自動努力をしていきましょう。そ
して努力をすることによってたくさんの周りの人たちに共感を得ていき天草を活性化
させていければと思います。本当にご協力ありがとうございました。よろしくお
願い致します。

【議長 大中氏】

ありがとうございました。これを持ちまして本日の議事を全て終了致しました。議長を解かさせていただきたいと思えます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【司会 高松】

大中さま ありがとうございました。閉会を濱崎副会長が申し上げます。

【濱崎副会長】

大変お疲れさまでございました。牛深支部の意見が多くて時間が遅くなってしまった事にお詫びしていいのか、活気があると言っているのか、今度からは少しまとめて牛深も臨みたいと思えますのでお許しを頂きたいと思えます。皆様方のご協力を頂き、提出されました全議案が原案通り可決されました事に対しまして厚くお礼を申し上げます。先ほどから地震の話がいろいろ出ております。天草も被害があったという事が先ほど会長からもご報告がありましたが、何よりも風評被害、二次被害がひどいのではないかと感じております。かつてないほど観光業者は窮地に追い込まれておりますが、冒頭に質問がございました件に対しまして失礼ですが少しだけお話しをさせて頂きます。確かに上天草に比べて遅いのではないかと、今日は山口県議がいらっしゃいますが、上天草は確かに早いという感じがございました。3800万、1万円以上は3000円の割引、1万円以下は2000円、それにクーポン、3800万が6月1日に先決をし、すでに6月8日で売り切れているんですね。我々は1350万、今度の議会で提出をされました。このままいきますと今月の24日閉会までそれを執行することは出来なかったんですが、幸いしまして市長の英断もあり、みんなの詮議をやりまして1350万に対し別に1650万、3000万という金額を勝ち取ることが出来ました。こういう事で少し遅れはしましたけれども、ただ1番最初の3000円の半額というのは早かったのではないかと思いますし、上天草は2500円だったと記憶しております。そういう事でいい意味で切磋琢磨してお互いに頑張っていくようにしたいかと思えます。先ほど馬場副会長からもございましたように、我々天草宝島観光協会も熊本地震対策本部を立ち上げ命がけで頑張っております。お互いに力を合わせてとにかく目指すところは一緒だと思うんですね。とにかく団結。お互い力を合わせてみんなで目標に向かって頑張りたいと思えます。それではこれを持ちまして平成28年度天草宝島観光協会通常総会を閉会致します。お疲れ様でした。

(一社)天草宝島観光協会平成28年度通常総会の議事録につきましては、以上のとおりです。